

ミサイル艇うみたかは大歓声！ 佐渡島で艦艇広報



新潟地本（本部長 1陸佐 小見明之）は佐渡市両津港で、海上自衛隊第2ミサイル艇隊所属ミサイル艇うみたか（艇長 3海佐 大峰昇一郎）の艦艇広報を行いました。うみたかは76mm速射砲、艦対艦ミサイルシステムを装備し、最高速力40ノット（75km/h）の高い機動性を活かした多様な任務に従事している艦艇で佐渡ヶ島両津港には2019年以来の寄港となりました。

艇内が見学できる特別公開は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前公募の当選者のみでしたが、「公募は外れたがうみたかを見たい。」と外観見学の一般見学にも多数の人が訪れの人気の高さが伺えました。岸壁では航空自衛隊第46警戒隊（隊長 2空佐 百田顕）の支援を得て軽装甲機動車展示と募集広報ブース（自衛隊説明・ガラポンコーナー）を設置し、訪れた来場者は広報官から海上自衛隊やうみたかの説明を聞き、自衛隊グッズが当たるガラポン抽選なども楽しみながら艦艇を見学していました。





特別公開見学者は乗員の誘導に笑顔を見せながら乗艇し、装備品や艇内の説明を聞き、質問に丁寧に答える乗員に感心していました。また、航海科員の洗練されたラッパ吹奏の展示にも歓声が上がりました。見学者からは「装備品や艦艇の丁寧な説明がわかりやすく、乗員には県内出身者もいることで海上自衛隊をより身近に感じた。」「ラッパ吹奏をする姿がかっこ良かった。」といった声が聞こえ海上自衛隊への親しみを深める高い広報効果がありました。

新潟地本は今後も艦艇広報で海上自衛隊の魅力を発信する広報を行ってまいります。

